

2020年7月9日

2020年春過ぎて、7月のご挨拶

九州工業大学学長 尾家祐二

新年度のご挨拶を行いたいと思いながら、春が過ぎ、梅雨を迎え、7月になりました。この間、新型コロナウイルス感染症が拡大し、7月に入って、各地で豪雨災害による深刻な被害が報告されております。亡くなられた方々、犠牲とられました方々に衷心よりご冥福を申し上げますとともに、罹患されました皆様、被害に遭われました皆様にこころよりお見舞い申し上げます。

これまで、本学は、新型コロナウイルス感染症拡大に際し、2月中旬に危機事象対策本部を設置、刻々と変化する情勢に対応し、学生諸君が安心して学習できるよう、講義開始時期、講義方法等の適宜見直しを含め、審議、決定、周知を行ってまいりました。そして、関係する方々の安全面、健康面を考慮し、また感染拡大防止のために、大変残念ながら3月の学位記授与式とともに、4月の入学式も中止いたしました。関係者の皆様には、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

本学では1年を4学期（クォーター制）に分けており、その最初の第1クォーターが終了し、6月30日より第2クォーターが始まりました。第1クォーター中のすべての科目が、遠隔授業で行われ、第2クォーターも実験、演習など対面で行うことが必要な科目を除いて、遠隔授業が行われています。さて、遡って、この4月、学部、大学院に1,647名の新入生を迎えることができました。大変嬉しいことです。学部における女子学生については、3年次編入学生を含み、15%を超える153名が入学しました。そして、留学生は12カ国から55名が入学しました。日本に来ることが出来ない留学生、いったん帰国した後日本に戻れなかった留学生は、海外にしながら遠隔授業および研究指導を受けています。

今日の世界では、人、もの、情報が大量に行き交い、社会、経済活動において、人、国、地域が相互に強く依存し合っています。そのような中で起きた新型コロナウイルス感染症拡大に際して、まずは、その感染拡大を防止することに注力し、次に一定の収束後は、再拡大防止と社会、経済活動の継続、活性化をどのようにして両立させるかが課題となっています。まさに、前例のない課題、正解のない課題に取り組んでおり、多くの人々の多様な知恵が必要になっています。

改めて、このような時に、人々の、組織間の交流について考えてみたいと思います。ジャレド・ダイヤモンドは「昨日までの世界」（日本経済新聞出版）の中で、交易について、「われわれの祖先たちが、少なくとも数万年前の氷河期時代に、すでに交易を行っていたこと」が考古学的にわかっており、「大半の伝統的な社会は、われわれの先進社会と同じく、何かしらを外部から入手する生活をしてきた。つまり、やろうと思えば何でも自給できる伝統的な社会ですら、人々は自給自足の生活は選択しないものであり、自力で獲得できたり、制作できたりするものでも、物によっては交易を通じて入手することを好むもの

である」と述べています。信頼関係がなければ争いが生じやすくなるため、交易、交流を通して信頼関係を築き、維持することが社会的にも政治的にも重要です。新たな発想、イノベーションも様々な人、アイデアが繋がることによって生み出されてきました。そして、信頼関係に基づく平和な環境こそが持続的な繁栄をもたらします。今回の新型コロナウイルスによる影響下において、信頼関係を醸成させ、発展させるための知恵を出し、試していきたいと考えています。

今回のコロナ禍の中で、私たちは大学に集まることができず、自宅で仕事をしたり、授業を行ったり、学生諸君も同じく自宅で授業を受けざるを得なくなりました。すなわち、大学と自宅の間の物理的な距離の制約を無くさなければならなくなりました。今回、技術的には、ICT（情報通信）技術によって、それが可能であることが示されましたが、実際に、これまで、このように大規模に在宅勤務、遠隔授業が実施されたことはありませんでした。感染症拡大という不測の事態の中でのやむを得ない対策でしたが、それらの良いところ、問題点を整理し、良い点は、さらに活用し、危機を好機に変える取り組みを検討し、試行することは大切であると考えます。一方で、直接会う、集まることの価値を改めて認識し、それぞれの物理的な場所、空間の価値について考える機会にもなっていると思います。これについては、英『エコノミスト』編集部「2050年の世界－英『エコノミスト』は予測する」（文春文庫）の第19章には、「距離は死に、位置が重要になる」という表題が掲げられ、ICT技術が進展した世界を、「人が絶えずつながり、多くの意味で距離がかつての重要性を失った世界だ。しかし、距離が死ぬと奇妙なことが起こる。人と物の物理的な位置が、いくつかの点でかつてない重要性をもつようになるのだ」と指摘しています。私たちは、すでにその入り口にいるのではないのでしょうか。

春のキャンパス内では、桜が咲き誇り、チューリップ、芝桜が咲き、新入生を迎える準備ができておりました。来年は、心から桜の開花を楽しみたいものです。最後になりましたが、皆さまのご健康と、新型コロナウイルス感染拡大が1日も早く終息しますことを切にお祈りいたします。

参考情報

○本学の新型コロナウイルス感染症への対応

https://www.kyutech.ac.jp/media/001/202007/cov19_kyutech_taiou.pdf

○この未曾有の事態に直面している若い学生諸君への私からのメッセージです。

・「この危機を好機に変える柔軟な発想力を（2020年4月23日）」

<https://www.kyutech.ac.jp/information/entry-7457.html>

・「慎重さと寛容な気持ちを持ち、結束して新たな未来づくりを（2020年5月27日）」

<https://www.kyutech.ac.jp/information/entry-7529.html>